

《履修上の留意事項》公衆衛生学 は、4年次の公衆衛生学 と前編・後編をなすものであり、これらによって、公衆衛生学の全体像を概観するものである。公衆衛生学という科目の性質上、原則として最も新しい資料を用いて講義を進める。

《担当者名》西 基 motoi@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

わが国および世界の公衆衛生学につき、幅広い知識を習得する。

【学修目標】

国際保健、感染症、学校保健、母子保健、人口統計、成人保健に関し、公衆衛生学的見地から説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	国際保健、感染症(1)	国際保健のあゆみ、保健に関わる国際機関と活動、国際保健協力、感染症の動向、感染症法、検疫法など	西
2	感染症(2)	結核、エイズ、性感染症など	西
3	感染症(3)	院内感染対策、予防接種法、食中毒など	西
4	学校保健、母子保健	学校保健安全法、児童生徒の健康状況、母子保健の現状と動向、母子保健関係法規、新生児マス・スクリーニングなど	西
5	人口統計(1)	人口静態統計(国勢調査、年齢別人口)、人口動態統計(出生と再生産、死産)など	西
6	人口統計(2)	人口動態統計(死亡、婚姻、離婚)、平均余命など	西
7	人口統計(3)	人口動態統計(死因統計)など	西
8	成人保健	生活習慣病の動向とその危険因子など	西

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

原則として定期試験100%だが、提出物などを加味する場合がある。

【教科書】

『New Simple Step 公衆衛生』第2版 高橋茂樹・西 基、総合医学社

『コ・メディカル用語事典』西 基、丸善（電子媒体）

『公衆衛生最速トレーニング365問』西 基、総合医学社

【備考】

資料としてプリントを配付する。教科書や事典の、講義で触れた部分をマークしておくことが望ましい。

『公衆衛生最速トレーニング365問』により、医師・歯科医師・薬剤師・保健師・看護師など様々な医療職の公衆衛生学関連の国家試験問題を中心とした問題の演習を適宜行う。

【学修の準備】

予習として『New Simple Step 公衆衛生』の該当部分を読んでおくこと。復習としては、講義があった日には、講義で触れた教科書、事典、プリントの部分に必ず目を通すこと。何らかの事情で当日出来なかった場合には、その週末には行うこと(予習復習4時間)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP5：多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

【実務経験】

日本専門医機構認定小児科専門医、日本医師会認定産業医、日本公衆衛生学会認定専門家、介護支援専門員。

【実務経験を活かした教育内容】

上記実務経験を生かし、国際保健、感染症、学校保健、母子保健、人口統計、成人保健に関し、過去から現在に至る情報を提供して講義を進める。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している